

## はじめに

最低限の道具で行うフィジカルイグザミネーション技術，多角的視点で判断するアセスメント力，在宅療養者やその家族の意思を引き出すコミュニケーション力……，このようなスキルを最大限に発揮できる在宅看護の現場は，やりがいと可能性にあふれていると日々実感しています。

DX(デジタル・トランスフォーメーション)化が進むいまであっても，AIに取って代われない職業であろう看護師は，今後，よりこのような技術が求められると思っています。

本書は，在宅看護のアセスメントやケアに必要な知識を集約したポケットブックです。在宅の現場で必要なときにすぐに取り出せて，その場でアセスメントのポイントやケアの手順，工夫などを一目で確認することができます。

本書を参考に実践を繰り返し，在宅看護に必要なスキルをぜひ習得していただければと思います。

2024年3月  
井田 奈央